

制度が始まって5年目

地域おこし 協力隊からの 活動報告

現役3人を直撃！

はじめは2016年に5人からスタートした曾於市の地域おこし協力隊制度。市報でもこれまで、さまざまな活動を紹介してきました。今年で5年目を迎え、現在は現役3人、卒業生2人が曾於市に住んでいます。現役の3人は今なにを想い、どう動くのか。改めて話を聞いてきました。

2019年5月着任
江藤 裕一さん



新たな施設で 相談対応を

大

分県より移住し昨年5月に地域おこし協力隊となった江藤裕一さん。今までの活動を振り返ります。

江藤さんは曾於市に訪れる人(交流人口)を増やすというミッションを受け、協力隊に就任。前職での移住定住や起業相談の経験を活かして活動しています。

昨年11月には前職のつながりを活かし女性起業家支援のイベントを行いました。

「このイベントをやったことで自分の存在を知ってもらい、曾於市の

人との繋がりを作ることができました」

そのような繋がりから経営・起業相談を受けるようになった江藤さん。もつと気軽に相談できる場所を設けたいと公益財団法人かごしま産業支援センターが設置する『よるず支援拠点』に協力を依頼。無料で何度でも相談できる体制を構築しました。

当

初から「誰もが移住・起業の相談や情報発信ができる施設があれば」と考えていた江藤さん。企画課と一緒に、コワーキングスペースや会社ともちがう「第3の仕事場」として新しい施設の開設に取り掛かりました。

その施設『シゴトバ3ラボ』は、8月下旬に財部町でオープン予定で、インターネット環境が整備されているのはもちろん、動画撮影ができるスタジオや経営の相談窓口があります。

「曾於市を知ってもらうために情報発信の必要性に気づいてほしい。施設を利用する人に気軽に相談してもらえる信頼関係を築いていきたい」と話しました。



英語を通して

世界を広げたい

昨

年の6月、大阪より移住し、曾於市の地域おこし協力隊として赴任した大村信夫さん。この一年どのように過ごしてきたのでしょうか？

元々、『英語力育成業務』をミッションとして協力隊に就任した大村さん。最初の頃は『英語を教える』ということに自信を持てず、試行錯誤だったそう。

「旅行会社で現地とやりとりする仕事をしていたので英語を使うことには慣れていましたが、それを『教える』となるとまた違う分野に感じて。どうしようかと考えました」
まずは経験が必要だと、昨年の11月に市民向けに英会話教室をはじめ、全5回行いました。

地域おこし 協力隊からの 活動報告

「ほかに、ゲストハウスの立ち上げや国際交流の手伝い、檜神社でのお茶会のサポートなどいろいろ

なことに声をかけてもらい、たくさん経験させていただきました。本当にありがたかったです」

自身でも海外向けのインスタグラムを開設し、旅行会社に勤めていた経験から『観光』にも関心が高かった大村さん。

「海外の人と触れ合う機会も多くいただいたこともあって、すごく楽しかったので仕事として続けられたいと思うようになりました」

そうした思いから今後の活動を教育と観光の二本柱でいければと考えてようになったそう。

そ

んな中、教育委員会からの誘いがあり、今年の1月か

ら末吉中学校で英語の授業に参加することに。ひとつの大きな機会となりました。

「中学生の授業に出て、何の役に立ってるんだろうと最初は不安でした。今でも、中学生から学ぶことが多い気がします」

英語の先生、外国語指導助手であるALTがいる中で、自分でできることを日々、模索しています。

「先生方が本当に楽しい授業をつくってくださっていて、自分もこんな授業を受けたかったと思います。その中で自分にできるのは細かいサポートをすること。わからないような子がいるときのフォローや授業が終わってから、先生へ生徒の反応の共有などもしています」

こうして実際の教育に携わるようになってより思うのは『英語を使えることで視野が広がる、世界につながることを知って欲しい』ということ。

今後英語を通して「曾於市」から世界へつながるよう、手伝いをしていきたいと話しました。



2019年6月 着任
大村 信夫さん





2020年6月着任
栞志帆さん



今年の6月、地域おこし協力隊として赴任したばかりの栞さん。前号で「農家を子どもたちのなりたい職業ランキングに入れるのが目標」と話していました。なぜそう思うようになったのでしょうか。

「わたしも実家が農家なのですが、小さい頃やりたくなかったんです。汚れるし暑いし…という表面的なことしか見えていなくて。だけど大人になって『すごいことをしてんだ』って気づいたんです」

自然を相手に種から作物をつくり、それを消費者に届ける責任を担う。その尊さに気づいたそう。

『辛そう』ってだけで選択肢を狭めるのは子どもたちにとってもつたいたいと思うんです。だから、もっと、稼げるとか楽しいというイメージをつくっていききたいです」

今、栞さんは曾於市の色んな農家さんと出会い、さまざまな農家の形を学んでいる最中。今後はそのイメージを共有したり、農業を身近に感じることが出来る企画などをやっていきたいと話しました。

広告

JAそお鹿児島住宅ローンキャンペーン

令和2年5月1日(金)～令和2年12月30日(水)まで!!

実施中

当初10年固定金利

年 **0.90** %

(保証料別途)

当初3年固定金利

年 **0.80** %

当初15年固定金利

年 **2.10** %

当初5年固定金利

年 **0.85** %



【ご注意事項】

※詳しくは各支店窓口へお問い合わせください。

●お申込みに際しては、当JA所定の審査をさせて頂き、審査結果によりご融資をお断りさせていただく場合がございますのでご了承ください。

 JAそお鹿児島

大隅支店 099(482)6813
末吉支店 0986(76)7703

財部支店 0986(72)3114
本 所 099(482)6807